

議員定数に関する懇談会 質疑応答概要

平成29年4月27日(火) 19:00～20:45

項目	要 旨	
定数に関する質疑	Q	議員定数の見直しは、どういった経緯で行っているのか。
	A	成田市議会独自に行っているもので、成田市にとって相応しい議員定数を議論するため、昨年設置した議員定数検討会で議論を進めている。市議会としての形を示すため、様々な検討をしているところである。
	Q	最終的に意見を集約する予定なのか。
	A	最終的には、議員定数検討会からの答申に基づき全議員で議論し、市議会として一本に決める方向で考えている。
	Q	議会・議員はどうあるべきかといった方向性が定められたうえで定数が示されていると議論がしやすい。現在、どのような検討がされているのか。
	A	方向性としては、議会のあり方や、どのように市民に見える形にするかを考えながら議会改革を進め、議会基本条例を策定した。その上で現在議員定数の議論を進めている。
「議員定数検討会における議員定数についての考え方・意見等」に関する質疑	Q	現状維持を唱える意見の中に「議員定数の削減は経費削減にならない」とあるが、その根拠は。
	A	定数が減れば当然経費は削減されるが、この意見を言った議員は、2,000万円を減らす効果よりも、議員を減らすデメリットの方が大きいという趣旨である。現状維持を訴える議員の中にこういう意見があったということで、議員全員の考えということではない。
	Q	「特段困ることがないので、今のままでい」という意見があるが、このような議員は辞めてもらいたい。
	A	30人で議会を運営していて困ることがないという意味であり、市政に対して困ることがないという意味ではない。
「市議會議員定数関連データ等」に関する質疑	Q	議会費の内容は。 このような金額で議会全体を運営しているとは思えないが。
	A	議員報酬、事務局職員の給与や視察の経費等、議会運営に係るすべてを含めた費用となる。
「議員定数等に関するアンケート調査実施結果」に関する質疑	Q	1,000人に対するアンケートで回答率が約3割だが、総体的に無関心ということだと思われる。そのことについてどのようにとらえているか。
	A	市民の皆さんがどのように考えているのか把握するためにアンケートを実施した。その内容や懇談会でのご意見等、様々な意見を伺った上で、判断の材料にしたいと考えている。
	Q	統計学上、1,000人くらいの回答がないと全体の意見とは言わないのでは。
	A	回答数としては少ないかと思うが、懇談会の意見も含め参考として受け止めさせていただく。

項目	要 旨	
その他の質疑	Q	議会だよりの一般質問の欄を見ていると、重複した質問が多い。もう少し多岐にわたった一般質問が出てもいいと思うが。
	A	議員はそれぞれのが政治理念によって選出されていることに加え、議員の発言を制約できないということもある。市民の方から見ると重複しているように見えるかと思うが、ご理解いただきたい。
	Q	議員による政策立案は、ほとんどされていないと思うが。
	A	これまでの政策条例は「空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例」と「成田市議会基本条例」の2条例のみと思われる。ご意見を深く受け止めて議論を進めていかなければと考える。
	Q	空港問題やまちづくりについて、議員ではなく民間が先導してやっていると感じられる。議員30人がまとまって行動できないのか。
	A	選出の過程でそれぞれ政党や政治理念等があり、目的があって議員になっているので、30人がすべてまとまってというのは、難しいのではないかと個人的には考える。
	Q	今後、市政において大きなプロジェクトはまだあるのか。
	A	現時点で議会が把握しているのは、①空港機能強化 ②医学部関係 ③市場の移転について、この3点が挙げられる。 行政の計画は、成田市総合計画「NARITAみらいプラン」に基づいて進められている。議会も、その総合計画に対応する議員定数のあり方について検討を行っていきたいと考えている。

議員定数に関する懇談会 意見・要望概要

平成29年4月27日(火) 19:00~20:45

項目	要 旨
定数に関する意見	定数に関して多い少ないという意見はない。共に頑張っていくことが良い。成田市が発展していく為に、それぞれの立場で考えて、それが集約化されるのが一番良いと考える。
	空港関係は大きな予算を使っている、様々な検討事項があると思うが、それを市議会で議論しても市民にはインパクトがない。常任委員会や特別委員会の数を増やすなど、それで初めて議論が見えてくると思う。議員定数の結論としては皆さん方で検討していただきたい。経費の削減という方向に進まなくていいと思う。
	児童が増えてきているので、成田市はまだまだ活性化すると思う。そのような中で、削減ということよりも、今の議員定数で足りるのかということも考えてもらいたい。減らすことによって、遅れをとることにならないように留意してほしい。
	議員定数を増やした方が良いとか、減らした方が良いという意見は持たないが、説得力があると思ったのは、「委員会は9人構成で3委員会27人」だと感じた。
	アンケートで「関心がない」「意見が反映されていない」と回答した方は、定数削減の風潮に乗った意見が多くなってしまふ。これを市民全体の声とするのは違い過ぎると思う。一般市民に関心を持ってもらうためには、普段の議員活動をもっとPRしていく必要があると思う。
	経費削減の話は、良いとは思わない。成果と経費を比較したとき、削減したことによって市政へのチェック機能が衰えてもいけない。議員には自信を持って活動してもらいたい。議員定数については、現状をいかにきちんとやるのが先だと思う。
	議員定数が何人とかではなく、いかに地域の声を市に伝えられるか、どう市民の声を聞き入れてくれるのかが大事だと思う。委員会に何人いれば議論がしやすいのかというように考えてもらえればいいと思う。
	成田空港がある中で、他市と数字上での比較はできないと思う。定数の増減のことは何とも言えない。
	市議会の中で定数の議論がされていることを初めて知った。定数よりも、地域の声を市政に届けて役立ててもらいたい。もっとインターネット等メディアを利用して、実績等をアピールして欲しい。
	成田市は他の市町と比べて、地域ごとに抱える問題がかなり違う。そのような中、市政を統一的に推進していくためには、各議員にお願いすることになる。今は十分に対応してもらっているが、定数を減らしては市政として一体的に運用していくには無理があると思う。また、空港のことがあるので、定数を減らしてはいけないと思う。
定数ありきではなく、議会制度をこうしたいという理由があつて定数を変更したいというのであれば理解しやすい。	
政策立案の質を高めてから定数の検討をしていただきたい。	

項目	要 旨
その他の意見・要望	議員の活動を知ってもらう為に、市民の意見を聞くなど、もう少し活動の幅を広げてもらいたいと思う。
	参考資料のデータにある数字の上では比較することができない。
	アンケートの結果を見ると、議員の資質を問われているのだと思う。議員の報酬に見合った活動、市民によく知ってもらうような活動をしてもらいたい。
	議会改革等、市民が政治に対する関心を高めるようなことに取り組んでもらいたい。
	女性議員が2名しかいないので、女性議員を増やす取り組みもお願いしたい。
	児童の登下校の安全、危険個所の改善を行政にお願いしてきたが、どうしても遅いので、議員に地域に入ってもらって、行政への後押しをしてもらえれば、議員活動も周知されてアンケートの回答率も上がると思う。
	何を市議会に求めるのか、ということをも市民側ももう一度考えてもいいのではないかと思う。例えば、都議会は見やすい形で運営されている一方で、成田市議会は見えにくいという意見がある。行政・議会・市民という立場もあるし、市民が議員を選んでいるのだから、信頼した上で市民が議会に届けるというように考え直してもいいのかと思う。誰かがどこかでではなく、市全体として市議会議員も市役所の職員も地域の皆さんも、成田市のことを考えるというように進められないかなと考えている。
	定数が何人いても構わないと思う。成田市はまだ空港が完成されていないので、空港が完成するよう要望する。